



# ばいりん

令和4年12月号

横浜市立梅林小学校

TEL 045-773-0341

FAX 045-772-4862

## 人権週間

～だれもが 安心して 豊かに～

校長 芦垣 幸代

横浜市では、「だれもが」「安心して」「豊かに」生活できる学校を目指し人権教育の推進に取り組んでいます。平成29年度からはさらに、「人とのつながりから学び、自分も他の人も大切にできる子どもの育成」について、以下のように考え、人権教育を進めています。

### 人とのつながりから学び、自分も他の人も大切にできる子どもの育成

この10年間で、社会の状況が大きく変化し、人間関係の希薄化や子どもの背景の複雑化、多様化、それまで見えていなかった人権課題の顕在化などが指摘されています。また、人の命の大切さや人と人とのつながり、共に生きるこの意味が今、あらためて問われています。

このような中、学校、家庭、地域が一体となって「人とのつながりから学び、自分も他の人も大切にできる子ども」を育む人権教育の取組が、求められています。

人とのつながりを通して様々な人の思いや背景を知ることにより、価値観を広げたり深めたり多様性を認め、自分の中にある差別や偏見に気付くことができます。その気付きは、自分も他の人も大切にし、尊重する心を育てること、様々な課題を自分の課題として捉え、共に解決に向かう子どもを育てることにもなり、さらには安心して豊かな社会をつくることにつながっていくのです。(横浜市教育委員会「人権教育の充実に向けて」より)

本年度、梅林小では、「主体的に考える」「思いや考えを伝える」「受け入れる」姿を目指し、教育活動を行っています。そしてこれらは別々のものではなく、「主体的に考える」「思いや考えを伝える」力をつけていくことで、「自他を受け入れる子」の育成につながっていくと考えています。様々な課題を自分の課題として捉え、伝え合ったり話し合ったりしながら共に解決に向かう経験を重ね、考えを広げたり深めたりしていく、他の人の違う考えに触れ、多様性を知り、自分に自信をもち、同時に他の人を大切にしていこう子どもの育成をめざしています。

今年度の各学年の学年目標で、主に「受け入れる」に関するものを集めてみました。

1年「きらきらわんこ」めざす4つのパワーから★ミックパワー（友達や自分のよさを見つける）

★おもいやりパワー（ルールを守り、気持ちよく生活する）

2年「にじいろ」の呼吸3つの型から \*三の型 みんながきらきら みんなの良いところを受け入れよう！

3年「3シャイン79～なかま～」から ㊦「かがやく笑顔！」 ㊧「毎日発見！」

4年「4（フォー）you（ゆう）」4つの（ゆう）から 優⇒優しい気持ちをもって友だちと過ごす。

5年「Go!Go!Goingood♪」から ♪そういうことなの Goingood♪

6年 スゴ6（すごろく）から ★認め合い助け合う ★相手の気持ちを考えた行動

5組 「レベル アップ」から 「みんなで仲良く過ごす」「助け合う」

私たちは、ややもすると自分のことだけを考えてしまいがちです。自分だけが正しいと思ってしまうがちです。子どもたちの日々の生活の中でも自分本位の行動からトラブルになることも見られます。相手の思いを知ることで「そういうことか」「そう考えたんだ」「それがつらかったんだ」と、一人ひとり違うことを知り、一人ひとりの違いを受け入れられることにつながるのではないのでしょうか。人権週間を機会に、自分の日常の言動を振り返り、互いに尊重し合うことの大切さを考えることを通して、周りの人を大切にすることは何より自分自身を大切にすることにつながることに気付いてほしいと思っています。